

(仮称) ハウステンボス スマートホテルプロジェクト

提案の 概要



A. プロジェクト全体の概要

- 建設地は、年間入場者数 270 万人超のテーマパーク「ハウステンボス」の敷地内（国内外多くの人の目に触れる立地）。
- 建物用途は、これまでの宿泊施設を超えた次世代型ホテル。
- 省エネ・自動化（ロボット化）を盛り込む他、木造建築による環境共生ホテルを志向。
- 「森の家」を意味するハウステンボスの豊かな自然と融和する木造ホテル計画であり、南北方向の緩やかな勾配を利用し園内の眺望を確保（別途計画中の芝桜庭園およびレストランに隣接）。

B. 提案する木造化・木質化の取り組み内容の概要

- CLT 工法による国内初めての宿泊施設への適用（100%国内の杉材を用いた CLT を主構造に用いたホテル計画）。
- 同種ホテルの国内外展開を前提に、現地の労務環境・インフラ状況に適應する客室システムの開発を志向（部材寸法・板取りを考慮）。
- 天井を準不燃化することで、CLT の内装壁面利用するなど、内外装を積極的に木質化。

C. 提案のアピールポイント

- 大規模集客施設内での CLT 工法初適用のホテルとしての話題性。
- 木造木質の普及啓発に向けたショールーム機能としての役割（将来の国内外の展開により更にその機能は拡充）。
- 100%国産の杉材を活用した CLT の採用により、将来に向けた国内杉材の流通拡大、低級材の有効利用に貢献。木造ホテルシステムの輸出（地産外消）の可能性も。



竣工した建物の外観

評価の ポイント



ハウステンボスの敷地内に建設する2階建てのホテル計画。CLT工法を国内で初めてホテル用途に採用するものとなる。

100%国産の杉材を活用することで、将来に向けた国内杉材の流通拡大にも貢献しようとするもの。

半戶外歩廊を中廊下として12室を2層にコンパクトにまとめることにより、宿泊施設だけでなく他用途への幅広い市場展開の可能性を提案している。

CLT工法利用の一つの典型的なモデルとして波及効果が期待される。

ハウステンボス旧キャンプ場の6,269㎡に72室のホテル客室を十分な緑地帯を設けて配置。南西隣地には芝桜の庭園およびレストランが予定されている。また日航ホテル側には同じ運営者によるホテルが併設され、竣工後一体のホテルとなる。



1階平面図

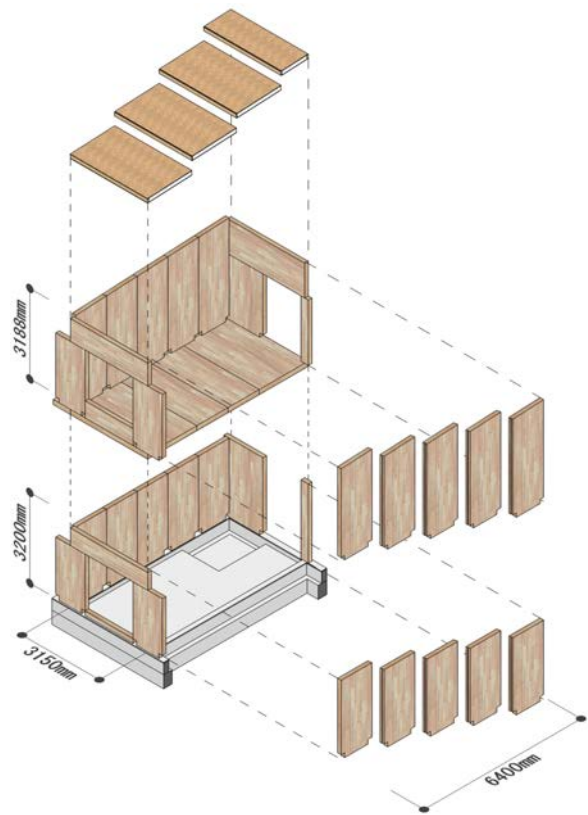
木造化・木質化の
取り組み
内容

先端性・先進性

- 国産ラミナを用いた CLT (クロス・ラミネイティッド・ティンバー) を主要構造体へ利用した構造体の実現。
- 柱型及び梁型が現れないボックスカルバート状のリジットもしくはセミリジットなラーメン架構及び壁構造を用いた構法の実現。
- 内装側に他仕上げ材を極力施さず、構造体と仕上げ材の一体化を実現。

波及性・普及性

- テーマパーク内の宿泊施設であり、多くの利用者に直接体感してもらえ、木造のよさ、国産材の利用についての啓蒙に大きく寄与。
- 主に国産杉材ラミナを採用することにより、木材利用の促進を図り、林業振興だけでなく、CO₂削減・炭素固定化にも貢献。
- CLT の採用により、これまで建築材料として利用されていない低級材の利用が可能な新しい材料として注目。
- 欧州での利用の特長である「大面積パネル・高層化」を模倣せず、「小面積パネル・低層」であってもユニットを繰り返し配置する利用方法を示すことで、宿泊施設だけでなく、医療・福祉施設、集合住宅、小規模オフィス、店舗など、幅広い市場への展開が可能。災害時の有期限建築物への展開も。
- ユニット化の概念を組み合わせることにより、海外へのグローバル展開（地産外消）が可能。



客室TタイプCLTパネル割り付け

使用する木材、木質建材の特徴

- CLT (クロス・ラミネイティッド・ティンバー) : 直交集積材
- 使用ラミナ : 国産杉材

プロジェクト
データ



提案者（事業者・建築主）、設計者・施工者、建設地は
扉頁参照

建物名称：(仮称)ハウステンボススマートホテル

主要用途：宿泊施設

主要構造：■木造 (□軸組構法 □桝組壁工法 □丸
太組構法 ■その他 (CLT工法)) □鉄
骨造 □鉄筋コンクリート造 □鉄骨鉄筋
コンクリート造 □その他

防火地域等の区分：□防火地域 □準防火地域 ■法
22条区域 □その他の区域

耐火建築物等の要件：□耐火建築物 □準耐火建築物
(60分耐火) □準耐火建築物 (45分耐火)
■その他の建築物 (棟あたり延べ床面積
3,000㎡未満、高さ13m未満、軒高さ9m
未満)

敷地面積：6,410㎡ (対象敷地)

建築面積：1,276㎡

延べ面積：2,002㎡

軒 高：8.21m

最高の高さ：8.29m

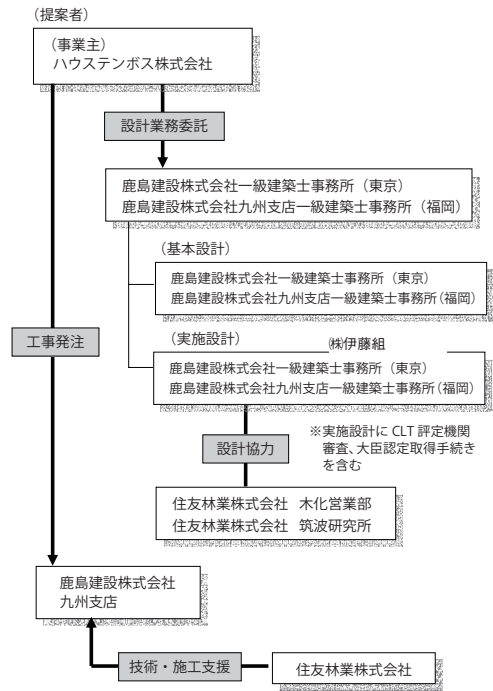
階 数：地上2階

事業期間：平成25年度～27年度

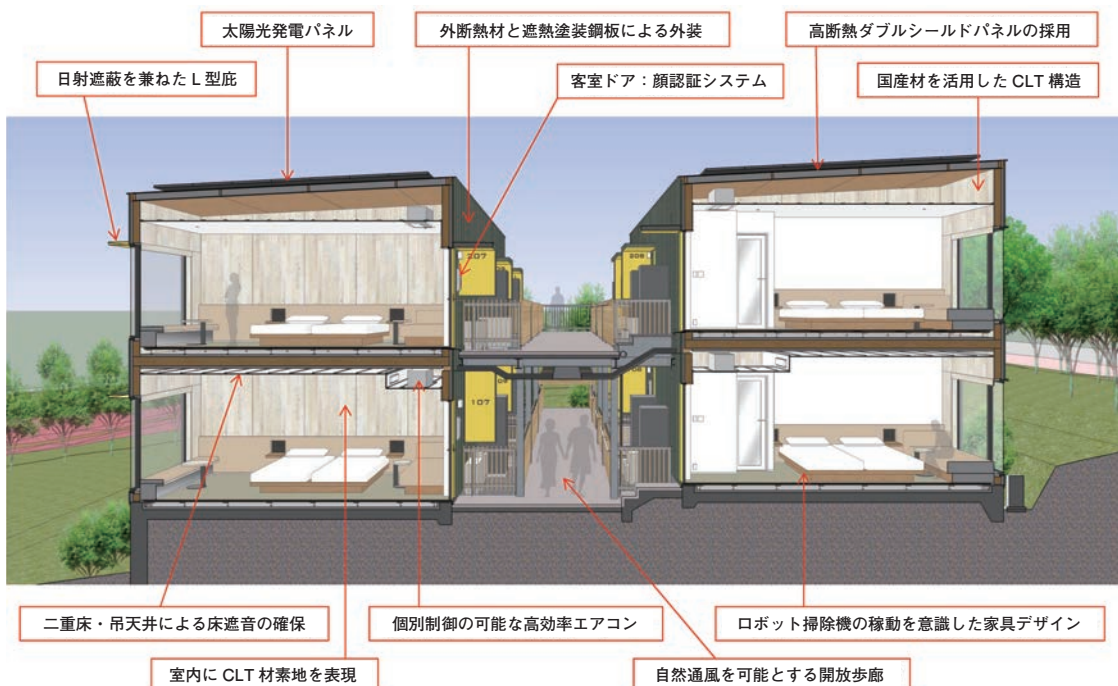
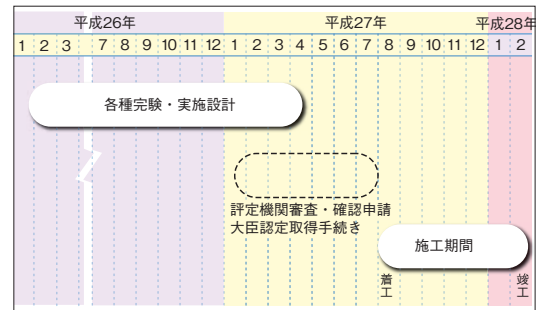
補助対象事業費：874,440千円

補助金額：102,500千円

事業の実施体制



事業スケジュール



客室断面透視図と採用技術

(仮称)ハウステンボススマートホテルプロジェクト-3

採択事例 **32** (仮称)ハウステンボス
竣工報告 スマートホテル プロジェクト



左手の黒い外装の建物3棟が CLT 工法による今回の計画 D、E、F、棟



D 棟外観、奥に E 棟と F 棟が見える



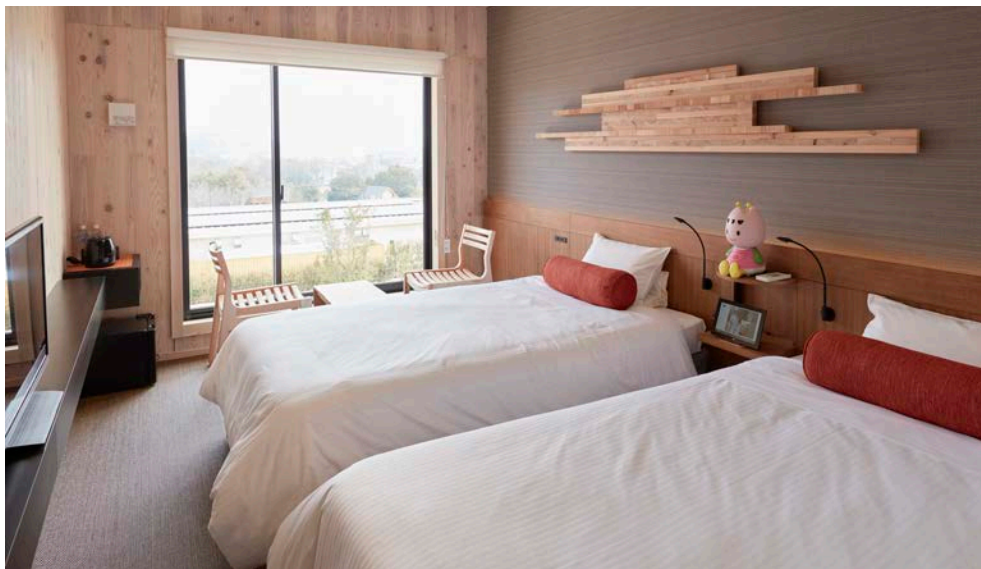
デラックス客室の室内



ベッド未設置の時の客室



ベッド未設置の時の客室



スタンダード客室の室内